

8月3日、宮城すすめる会が、地元選出の土井衆議院議員との懇談会を実施。父母、高校生含め総勢27人が参加しました。宮城では今後も国会議員との懇談をおこなうとともに、村井県知事との懇談の実現をめざして準備をすすめています。

## 宮城私教連 ニュース

仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台  
宮城県私立学校教職員組合連合  
TEL 022-271-3007  
FAX 022-271-3008  
24-06号 2023年8月6日

### 土井亨衆院議員との懇談会を開催

#### 総勢 27 名の父母・高校生・教員が国会議員に私学助成の拡充を直接要請しました

8月3日、宮城県私学助成をすすめる会が土井亨衆議院議員（宮城1区選出、自民）との懇談会を開催し、計27名の父母・高校生・教員が出席しました。会場となったフォレスト仙台会議室は満席となり、大変な熱気に包まれました。

参加者からは東京都や大阪府、福井県などで私学助成が大幅に拡充されている状況を踏まえ、生まれた地域によって教育条件に違いが出ていること、所得制限があるために働き方を制限せざるを得ないこと、兄弟が私学に通っている影響で弟妹の高校選択が限定されていることなど、様々な問題点が指摘されました。

#### 「所得制限は撤廃すべき」「財政云々ではなく、宮城県として子どもたちをどのようにして育てていくべきかを考える時だ」

土井議員は一人ひとりの意見に真摯に耳を傾け、「親の経済的負担はもちろん、子の精神的負担も取り除き、自由な学校選択ができるようにするために私学助成制度は改善が必要」「2020年に就学支援金が大幅に拡充したが、私学の授業料無償化が実現したとは言えない。所得制限を外すなど、真の無償化に向けて力を尽くしたい」「全国一律で所得制限を撤廃することが必要だし、宮城県も私学教育への理解を深める必要がある」「自治体の財源が厳しい」ということを言い訳にすべきではない。宮城県として“子どもたちをどのようにして育てていくのか”ということを考える時にきている」など、私たちの考えに寄り添った発言がありました（発言はいずれも大意）。また、懇談の最後には次年度に自民党の宮城県議会議員団を交えた学習会の開催を計画することなどが話されました。



総勢 27 名の父母・高校生・教員が参加（前列、左から 4 番目が土井亨議員） 裏面につづく



ご多忙中にも関わらず出席していただいた土井議員に深く感謝申し上げます。すすめる会では今後も国会議員との地元懇談を予定しています。また、村井宮城県知事との懇談実現に向けて準備をすすめています。



### 全国院内集会開催さる

#### 全国から結集して「私学の無償化」の声を上げる

7月12日、参議院議員会館（東京）で「学費の公私間格差・自治体間格差是正を考える院内集会」が開催され、全国から165名の父母・高校生・教員が参加しました。当日は84名の国会議員（代理出席含む）が集会に参加し、「みなさんの声が届いて（無償化は）確実に前に進んでいる。昨年の年収は2.5兆円予算を上回った。年収910万円未満世帯まで無償化するための試算は1100億円で、2.5兆円の約4.4%。財源がないわけではない。一緒に変えていきましょう」「（私は）この中で唯一の文科大臣経験者。在任時には学費補助やICT活用のための財源確保にも動いた。国債を発行しても子どもが立派に成長すれば税収につながるのだから、教育を拡充する必要がある」「諦めないで声を上げるから前進している。国と自治体の両方に補助を申請しなければならない。国が今できる限りのことをして無償化すべきだ」などの発言がありました。

東京都はすでに今年度4月から私立高校の授業料無償化を所得制限なしで実施しています。宮城でも、そして日本全国で「私学の無償化」を実現するため力を合わせましょう。



↑「川崎に住んでいる友だちが“多摩川の向こうに引っ越すか”と悩んでいた。すぐには変わらないかもしれないが、声を上げていくことは必要」旭丘高校（神奈川）の生徒の皆さん

今年の宮城の署名集約目標数は「2万筆」！ 10月には街頭署名も行います！！